

第99回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2025年8月29日（金） 21:05－22:40 オンライン会議

2 参加者（以降、敬称略）

（地学）相川、阿部、市川、飯田和也、岩田、田口、富樫、根本、林、宮嶋

（地理）高橋

3 協議

（1）次年度パブリックセッションについて

- ・教育検討委員会が主体となって準備することを確認した。

（2）理科4科目総合科目の導入について

- ・現行の理科基礎3科目システムの維持と理科4科目総合科目の導入について意見を交換し、特に中学校・小学校の理科教員育成の観点から4科目履修の重要性が強調された。
- ・地理が必修科された際、地理専門以外の教員への支援として地理学会等や研究会でオンラインセミナーが主催されたり、地理の教員採用数が全国的に増加したりするなどの動きがあったことが高橋委員より報告され、地学においては地理の取り組みを参考にすべきであると意見が出された。
- ・理科4科目総合科目の導入については委員の意見をまとめて宮嶋委員が学術会議に回答することを確認した。

（3）小中高の教科書分析について

- ・現行の教科書と学習指導要領に関する課題について議論し、根本委員、阿部委員より小中高の連携に課題があることが指摘され、今後小中高の教科書分析を行い、教科間の連携や課題を明らかにすることを確認した。
- ・教科書分析について以下の方法で行うこととした
 - 教科書会社（東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、信州教育出版社）ごとに少人数のグループに分けて分析を行う
 - 教科書分析に関する小委員会を今後3回実施し、第1回を小学校、第2回を中学校、第3回を高校の教科書について議論することを確認した。各委員は各小委員会までに教科書分析をグループで進めることを確認した。
 - 小学校の教科書は根本委員より送付、中学校の教科書は手元になれば各自購入（JpGU 負担）、高校の教科書は各校にある見本を利用する。ただし、各委員個別に準備できる場合はそれを活用することとした。
 - グループ構成は今後参加者が決まり次第委員長より案を送付する。

（4）地学教育関係者集会の検討

- ・飯田委員より 2019 年の東大での例に倣って、今年度 2 月頃にシンポジウムを開催することを提案された。
- ・シンポジウムのテーマについては今後委員長・副委員長で案を出し、今後の小委員会で議論していくことを確認した。

4 次回小委員会

次回の小委員会では小学校の教科書分析の報告及び議論を行う。実施時期は 12 月頃とした。